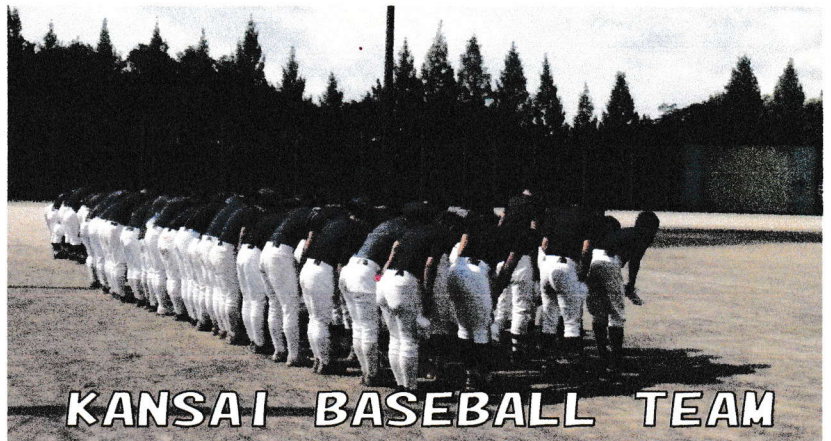




TOPICS

- ・ 秋季リーグ戦開幕！
- ・ ラストシーズンに懸ける想い
- ・ 特集「関大野球部 100 年の歴史
グラウンド編」
- ・ 編集後記



KANSAI BASEBALL TEAM

秋季リーグ戦開幕！

節	月	日	曜日	時間	対戦相手	球場
1	9	5	土	9:30	開会式	わかさスタジアム京都
2		12	土	13:00	近畿大学	皇子山球場
		13	日	10:30		
		14	月	未定		
4		26	土	13:00	同志社大学	ほっともっとフィールド神戸
		27	日	10:30		
	28	月	未定			
5	10	4	日	13:00	京都大学	南港中央野球場
		5	月	10:30		
		6	火	未定		
6		14	水	13:00	立命館大学	南港中央野球場
		15	木	10:30		
		16	金	未定		
8		24	土	13:00	関西学院大学	わかさスタジアム京都
		25	日	17:00		
		26	月	未定		

～全国制覇に向けて～

夏休みは部員全員が野球に集中出来る絶好の期間。秋季リーグ戦を見据え、昨年同様 7 月末の試験期間中も練習を行い、8 月からの高槻練習には全員が揃って万全の態勢で臨むことができました。27 試合のオープン戦を行い、チーム力と個人の技術に磨きをかけました。練習の前後には屋内練習場などで自主練習に励む者もあり、それぞれが意識を高く持つことができたかと確信しています。

8 月 17 日(月)～20 日(木)の 4 日間は、東京遠征を行いました！中央大学戦は悪天候のため中止となりましたが、慶應義塾大学、東京ガス、J R 東日本の 3 チームと対戦しました。関東の強豪チームと対戦し、とても収穫の多い 4 日間となったはずです。この夏の成果を秋季リーグ戦で思う存分、発揮してほしいものです。

そして、この秋季リーグ戦は 4 年生にとって最後のリーグ戦となります。再び神宮球場の土を踏むために、悲願である全国制覇を達成するために、全力で戦います。皆様の熱いご声援、よろしくお願い致します！

今回のニュースレターでは、主将を務める石丸亨(経 4・東福岡)をはじめとした、ラストシーズンを迎える 4 年生に意気込みを聞きました！

関西学生野球 2015 秋

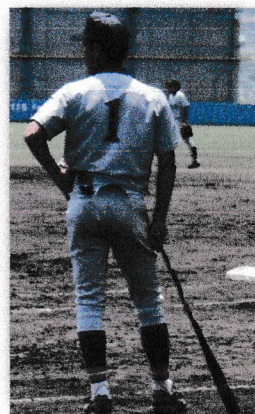
～ラストシーズンに懸ける想い～



我々4年生の最後のリーグ戦を迎えるにあたり、今まで野球部を支えていただいた方々に感謝し、この4年間培ってきたものを全て出し切ります。また、創部100年ということでたくさんの方々が期待してくださっています。その期待を力とし、絶対目標である全国制覇を果たします。

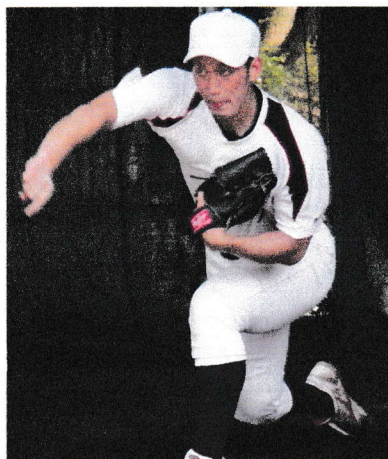
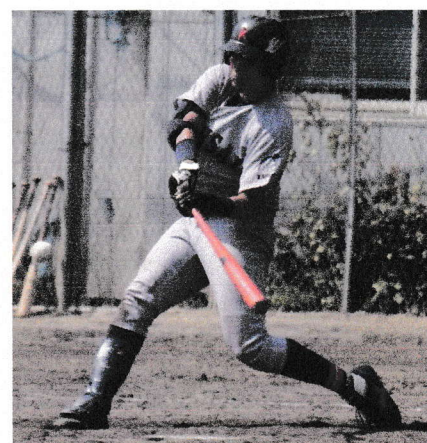
秋のリーグ戦でもグラウンドとスタンドが一体となり、今年のスローガンの「熱くなれ」の下、共に戦い抜きましょう。よろしくお願いします。

主将・石丸 亨（経4・東福岡）



昨秋のリーグ戦優勝の時にはメンバーを外れ、神宮大会を経験することができず、「この秋こそ自分が神宮へ」という想いが一層強まりました。また、多くの4年生にとっては幼い頃から始めた野球の集大成でもあります。野球を通じて学んだことや犠牲にしてきたこと、嬉しかったことや悔しかったことなど全て含めて、野球をやってきて良かったなと思えるように最後の一球まで全身全霊でプレーしたいと思います。

副主将・平岡 志大（商4・智辯和歌山）



1年の春からリーグ戦に登板させていただき、ついに最後のシーズンを迎えます。チームを優勝させたい気持ちはこれまで以上にありますが、特別なことをしようとせず、4年間積み重ねてきたことを素直に出し切ることに集中したいと思います。これまで優勝争いをしながらあと一步で勝ちきれないシーズンが多かったですが、常に先頭に立ち、気持ちを前面に出してチームとしての勝負強さを見せたいと思います。

副主将・石田 光宏（経4・近江）

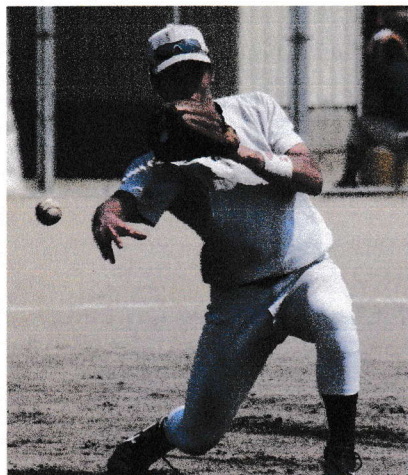
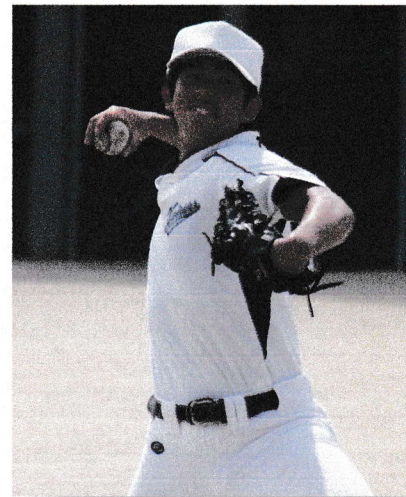
私たち4年生にとって最後のリーグ戦となりました。去年の神宮での敗戦からどうすれば優勝できるのか、神宮に行けるのか、全国制覇ができるのか、日々真剣に考え、ここまできました。その答えを出す場所はこの秋しかありません。全部員157名の想いを一つに「関大らしく」ベンチ、スタンドが一体となり戦い、関大野球部を支えていただいている全ての方々に感謝を「優勝」という形で体现します。ご声援よろしくお願いします。

主務・鍋島 庸高（人間4・桃山学院）



ここまで野球をさせてくれた両親、自分を支えてくれた人たちに感謝して大学野球のラストシーズンに挑みたいです。また、昨秋は先輩方に神宮に連れて行ってもらいましたが、今秋は自分がチームを引っ張るんだ！という気持ちでプレーし、リーグ優勝、そして全国制覇を成し遂げたいと思います。まだまだ成長過程のチームですが、全員が全力でプレーをしますので、温かい目で応援していただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。

塩田 聖矢(文4・大阪桐蔭)

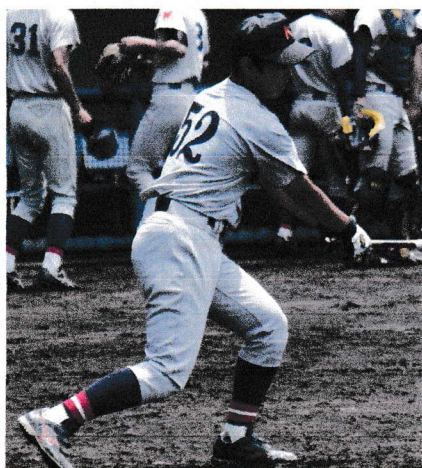
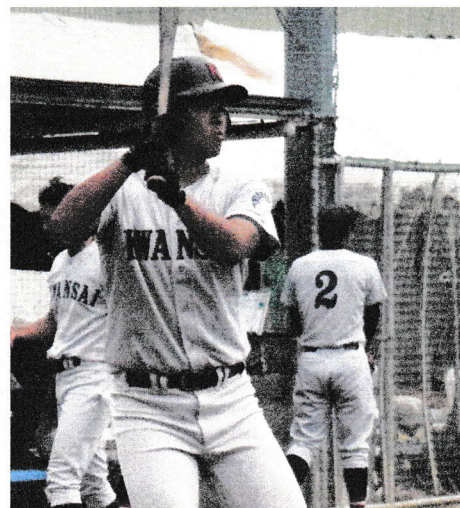


この秋のリーグ戦は、自分の野球人生の中でも、また同時にこのチームで戦うことのできる最後のリーグ戦でもありますので、自分にとってもチームにとっても集大成となります。これまで共に切磋琢磨してきた仲間たちと悔いのない戦いをしたいと思います。4年間を共にしたその仲間たちと悲願の全国制覇を果たすために、精一杯プレーしますので、応援よろしくお願いします！

上戸 大夢(文4・岡山学芸館)

リーグ戦に出ることを目標に掲げ、もうラストシーズンになってしまいました。あっという間の4年間でした。怪我で苦しい思いをしてきましたが、今となってはいい思い出です。最後のリーグ戦は今までやってきたことを出す場所だと思います。僕らの代は明るく前向きな集まりなので、試合に出ているメンバーだけではなく、ベンチ・スタンドにも注目して下さい。今年の4年生は突出した選手はいませんが、強い絆でリーグ戦優勝、関西制覇、そして全国制覇しますので応援よろしくお願いします。

戸田 啓太(経4・板野)



学生コーチとして選手とは違った立場・目線で「全国制覇」という執行方針を成し遂げるために取り組んでいます。

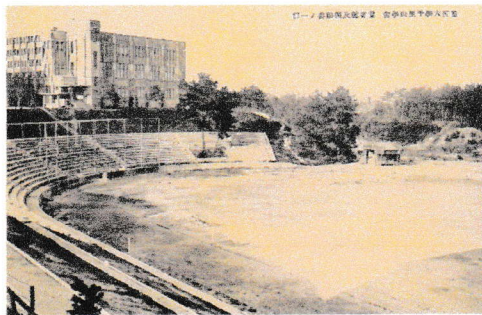
私は、直接的にプレーで貢献することはできませんが、練習内容の向上や選手のモチベーション向上といった間接的な部分でチームに貢献できるように努力を続けて参ります。

全員、全力で勝利に向かって邁進致しますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

高垣 智史(化生4・滝川)

関大野球部 100 年の歴史 グラウンド編

大正 4 年に創部された関大野球部は今年、100 周年を迎えました。千里山キャンパスの 3 つのグラウンドと共に長い歴史を歩んできました。今回はそのグラウンドが現在の形になるまでの歴史を特集します。



① 千里山運動場

大正 11 年に関西大学千里山キャンパスが創設されました。現在の千里山キャンパスの総合図書館の場所に位置していたのが、初代のグラウンド(旧第 1 グラウンド)です。大正 13 年秋から昭和 31 年まで使用されたこのグラウンドは千里山運動場と呼ばれ、野球だけでなくサッカー、ラグビーなどさまざまなスポーツが行われていました。石のスタンドが見つめる大運動場は野球部の代名詞でもありました。 写真:関西大学年史編集室蔵



② 第2グラウンド

昭和 31 年秋に完成したのが第 2 グラウンドです。現在は千里山中央体育館となっています。この年、野球部は全日本大学野球選手権を制し、初の大学日本一に輝きました。このグラウンドは平成 3 年春まで使用されていた為、記憶に残っている方も多いのではないのでしょうか。

写真:関西大学年史編集室蔵



③ 千里山キャンパス北グラウンド (旧第3グラウンド)

野球部が主に授業期間中に使っているグラウンドです。

現在、改修の計画が進められています。

さまざまな人に支えられて野球ができていることに感謝の気持ちを持って練習に励んでもらいたいです。



④ 高槻キャンパス第3グラウンド

平成 3 年、高槻キャンパスに新しい野球グラウンドが設置されました。主に春、夏の休業期間で使用し、他大学とのオープン戦にも使用されます。

周りを木々に囲まれ、千里山キャンパスとは一味違った自然豊かな場所にあるグラウンドで、思う存分野球に打ち込むことができます！

編集後記

今回の専首×Dash! 第 23 号はいかがでしたか？

創部 100 周年を迎えた関大野球部。関大の歴史と共にその歩みの一部をご紹介しました。平成 27 年 10 月から平成 28 年 3 月関大博物館で行われる野球部展にも是非お越しいただけたらと思います。そしていよいよ秋季リーグ戦の開幕です。4 年生にとっては最後のリーグ戦となります。東京遠征をはじめとした夏季オープン戦を経て、更に力を付けた関大野球部。一試合一試合、悔いの残らない戦いをし、悲願である「全国制覇」を達成します！



左から、1 年生マネージャーの東原(商・倉吉東)、田中(人間・乙訓)、北川(社安・大谷)